

でも医療情報における患者個人のプライバシーをどのように保護しかつ医療従事者に対して個々の患者の疾病歴データを効率的に提供するのかという点にあった。だがこうした情報データは、別の意味でも重要な意味を持つものであった。つまりNHIがNMDSといったような既存の情報データともリンクすることができれば個々の患者がどういった医療機関を利用し、どういった結果に至り、最終的に至った状態についても追跡可能となったのである。ニュージーランドにおいては、公的機関によるこの種の分析のためにこのNHI情報を利用することを制限してはいないことから、NHIおよびNWSの導入はプライバシーの問題を軸に、個々の患者における一貫した疾病情報データの管理を可能にし、そこから個々の患者の個別医療機関における詳細をも分析することを可能にするものであったともいえる。

(ウ) 医療情報システムの現状 DHB 体制

90年代半ばより、地域における包括的な情報システム Health Intranet システムの構築が進められてきたのであるが、2000年に入り新たな医療制度改革がスタートしている。この新たな改革にともなうシステムは、その地域で医療サービスに関わるすべての、医療機関が一定の基準を満たすことによって参加することができるとされた。その際の基準とは、このシステムに対して情報を内容が標準化された形、つまり特定のフォーマットを用いて提供すること。さらにこうした情報データを提供する際には、特定の送信プロトコルに従って情報を提供することなどである。政府および保険者の役割は、システムやソフトウェアそのものを決定するというよりも、むしろそのための標準化された規格を定めることにあるとされた。

このシステムは、現在のDHB体制における、地域医療情報システムの基盤となっているといえる。というのもDHB体制化においては、各医療機関は、そのサービス提供に際してDHBと何らかの契約を結ぶことになっており、そのための基本条件として、この情報システムへの参加が求められているからである。

(エ) まとめ

ニュージーランドの医療制度は90年代の市場主義的改革を経て、現在より地域主義的な改革へと変化してきている。90年代の改革において医療情報システムの必要性が叫ばれた理由の一つは、医療サービス購入機関がより効率的なサービスを購入する際に、どの医療機関が最も効率的なサービス提供を行いうるのかを知るための情報が存在していなかったという点にあった。こうした問題に対処するための一つの方策としてNHIおよびMWSが導入されたという側面は否定できない。

さらに90年代以降構築されてきた医療情報システムは、現在の地域主義的改革にも寄与

しているといえる。というのも新たな制度下において構想されている医療制度は、地域を基盤とした公的なマネジドケアもしくは統合ケアモデルであり、これを可能にするためには、地域ニーズと地域のサービス供給能力を正確に把握するための医療情報システムが必要とされるからである。こうした意味で、医療情報システムの重要性は90年代以上に高まっているといえる。

最後にニュージーランドにおける公的機関や保険者機能を持つ機関が医療情報システム構築に果たす役割として、医療情報に関わるビジョンの提示と基本的な部分での標準化の策定が重要であったと考えられる。多くの場合、電子カルテといった個々の情報システムの確立にのみ関心が奪われがちだが、むしろ重要なのは医療情報システム全体の方向性がどのようなものであり、かつ医療制度全体とどのように結びつけるのかという点が重要である。また特定のメーカーのハードおよびソフト以外の利用が不可能であるといった状況を生みだしてしまうのではなく、むしろ情報内容のフォーマットの規格化や電送プロトコルの標準化といった点を決定していくことが重要であるとされた。さらに個別のソフトおよびハードに関しては、一定の規格や標準化のもとで自由な競争を促している。

日本における医療情報政策の在り方も、今後は個別の問題への取組は言うまでもなく、より包括的な方向性を示す戦略が求められる。

文献

- ・ MINISTRY OF HEALTH “Health Expenditure Trends in New Zealand 1980-99.” Wellington: Ministry of Health 1999.
- ・ MINISTRY OF HEALTH “The New Zealand Health Strategy.” Wellington: Ministry of Health 2000.
- ・ STATISTICS NEW ZEALAND “Profile of New Zealand.” 2001.
- ・ Shipley, J. (Minister of Health) “Health Information Strategy for the year 2000.” Ministry of Health, Wellington August 1996.
- ・ New Zealand Health Information Service “Guide to Data Requirements 2001/2002 for National Health Index (NHI), Medical Warning System (MWS), National Minimum Dataset Inpatient Events (NMDS). Ministry of Health, Wellington May 2001.
- ・ New Zealand Health Information Service “Understanding the National Data Dictionary” Health Information Series, New Zealand Health Information Service, Ministry of Health, Wellington
- ・ New Zealand Health Information Service “National Health Index and Medical Warnings System” Health Information Series, New Zealand Health Information Service, Ministry of Health, Wellington